

平成23年度康楽賞贈与式を  
挙りました



香川学長（前列中央）と受賞者ら

平成23年度の康楽賞受賞者（教員12名、学生48名（うち学術研究関係24名、奨学生24名））が決定し、平成24年1月19日、長井記念ホールにおいて贈与式を挙りました。

康楽賞は、財団法人康楽会より、本学の教員でその研究に成果の

あつた者及び本学の学生で学業成績等が優秀である者にに対し、賞状及び賞金が贈られるもので、昭和26年に創設され、今回で61回目となります。

贈与式では、受賞者一人一人に学長から賞状、財団法人康楽会よりご臨席いただいた野田理事から賞金が授与されました。また、受賞者を代表して大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 福井裕行教授より財団法人康楽会に対して謝辞が述べられました。

第40回徳島大学駅伝大会を  
開催しました

1月28日、徳島中央公園にて第40回徳島大学駅伝大会を開催しました。本大会は学生及び教職員との相互の親睦を深め、体力・気力の向上を図ることを目的に、徳島大学体育団体連合会と徳島大学主

催で毎年1月に開催されます。今回は、5人の走者が構成する学生チーム34団体（男子26、女子8）、170人が、男子16km、女子10kmのコースでたすきをつなぎました。

各チームの健脚もさることながら、部活のユニフォームで走るチームもあり、応援も盛り上がりました。一人の故障者もなくすべてのチームが無事完走し、競技終了後は優勝チームに優勝杯と副賞、成績上位チームに副賞が授与されました。

3位までのチームは以下のとおりです。

- 優勝…城山防衛軍
- 2位…水泳部男子Aチーム
- 3位…天牙エンペラーズ（女子）
- 優勝…女子陸上競技部
- 2位…女子ラクロスA
- 3位…水泳部女子



男女優勝チームのみなさん

健脚を競いました

第7回日本語教育・国際理解シンポジウム  
「世界に通じる日本の笑い」  
日本の伝統文化を伝える」が  
開催されました

2月11日、徳島大学地域・国際連携プラザにて、「世界に通じる日本の笑い」～日本の伝統文化を伝える～が開催されました。本催しは、国際センター主催の日本語教育・国際理解シンポジウムの一環として行われたもので、今回は落語家の三遊亭竜楽さんを講師にお招きし、実演を交えながら講演いただきました。

三遊亭竜楽さんは、日本語に加えて、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語の6カ国語を使って落語の口演をされ、海外でもご活躍されています。講演では、落語が聴き手の想像力を使う芸であるため、言葉で完全に伝えられないことを補ってくれるので、世界で通じる芸となりうること等について、ご自身の経験を交えてユーモアたっぷりにお話しされました。



三遊亭竜楽さんによる落語の口演

講演後には日本語で落語を口演いただき、63人の参加者は熱心に耳を傾け、時々笑いに包まれました。日本の伝統文化を知り、海外に情報発信していくことの大切さを考えさせられるイベントとなりました。

徳島大学合同企業説明会を  
開催しました



企業の担当者から説明を聞く学生

2月11日、12日の2日間、工学部共通講義棟において徳島大学合同企業説明会を開催しました。本説明会は、毎年、就職支援センターが主催し、学部3年生、博士前期課程（修士課程）1年及び博士後期課程（2年）の学（院）生を対象に、各日約80の企業がブース内に於いて自社の説明を行うイベントです。

リクルートスーツに身を包んだ学生は、自分の希望する企業のブースを訪れ、企業の情報、業界

事情の情報の説明を熱心に担当者から聞いていました。積極的に質問をする学生も見受けられ、今後の本格的就職活動への意気込みも感じられました。2日間で延べ535名の学生が本説明会に参加しました。

徳島県地域医療支援センター  
キックオフ記念シンポジウムを  
開催しました

2月17日、長井記念ホールにて徳島県地域医療支援センターキックオフ記念シンポジウムを開催しました。徳島県地域医療支援センターは、徳島県と徳島大学により、地域医療を担う医師のキャリア形成支援と本県の医師の地域偏在の解消や医師確保の支援等を目的として設置されたものです。

安井センター長（徳島大学病院院長）、齋藤徳島副知事、香川学長、齋藤徳島副知事、赤池副センター長（大学院ヘルスバイオサイエンス研究部教授）から本センターの紹介がありました。その後、本キックオフ記念シンポジウムの記念講演として、福井大学医学部附属病院総合診療部の林寛之教授に「地域に息吹を吹き込むER総合診療の秘訣」と題し講演いただきました。



参加者からの質問に答える林教授（右）

今後、徳島県地域医療支援センターが行政と医療機関、大学等のネットワークを構築し、徳島県の地域医療の向上のため、役立つことが期待されます。

読者の言葉

1.やはり就職のことが気になります。今後どのように取り組まれているのか知らせて頂けると助かります。

【回答】

ご意見どうもありがとうございます。就職活動や就職の状況は、保護者の方にとりましては非常に大きな関心を持っていらっしゃると思います。徳島大学の就職支援体制につきましては、2010年秋号で特集を組みました。しかし、国内では昨年の東北大地震の大きな被害さらにギリシャの財政問題といった世界を巻き込む大きな動きの中で、日本の大学生を取り巻く就職状況は、改善されるどころかますます困難が増しております。徳島大学でも、学生の就職支援にしましては大学をあげてその体制を強化しております。

今回は新入生歓迎特集として新入生に知っていたいただきたい様々な学内の施設等を取り上げております。ですが、その中に就職支援センターを紹介しております。特集として、「就職支援」を組まなくても今回のような形で就職支援体制に関して紹介できるコーナーを設けることで、大学としての取り組みを知っていただけるように、誌面作りに配慮していきたいと考えております。

2.大学生になって家から離れ徳島で生活していますので、子供から学校の事をきく機会がありません。定期的な徳大の事を教えてください。ただのほのほしく思います。

自宅（実家）が遠方ですので、徳島大学の様子、活動状況など、なかなか知るすべがありません。このような情報誌がありますが、少しでも様子が垣間見ることができると嬉しいです。

【回答】

どうもありがとうございます。今回はこのようなご意見がかなり多く寄せられておりました。

ここ数年の徳島大学入学者（学部生）は、約65%が徳島県外出身となっており、多くの学生が下宿生活をしていきます。保護者の方々にとって、徳島大学をより良く知っていた材料として、この誌面を活用していただければ幸いです。